

【事業概要】

養殖水産動物保健対策推進事業

安里 聖貴*, 玉城 英信

本事業は安全な養殖水産物の生産、安定供給に寄与することを目的として、国の消費・安全対策交付金を受け実施した。主な業務内容は、養殖生産者に対し、養殖衛生管理、水産用医薬品の適正使用、食品衛生や漁場環境保全にも対応した助言、指導を行うとともに、疾病監視対策等を充実し、その効

率的・効果的な推進体制を構築することである。

本県では、「海洋生物毒等の監視の推進」と「養殖衛生管理体制の整備」の2つに取り組み、その事業内容と結果を報告する。

事業内容及び結果

(1) 海洋生物毒等の監視の推進

1) 海洋生物毒等のモニタリングのための調査分析

モニタリングの実施	15回	プランクトンモニタリング実施回数	12回
		天然二枚貝毒化モニタリングの実施回数	3回

表1 貝毒原因プランクトンモニタリング結果

※単位は cell/L. N.D.は不検出.

調査地点	原因種	2022年					2023年							
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
塩屋湾	<i>Dinophysis caudata</i>	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	
塩屋	<i>Alexandrium</i> spp.	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	
塩屋湾	<i>Dinophysis caudata</i>	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	0.13	0.07	0.13	N.D	0.21	0.05	
田港	<i>Alexandrium</i> spp.	N.D	N.D	N.D	N.D	0.07	N.D	0.01	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	
石川漁港 石川1	<i>Dinophysis caudata</i>	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	0.12	N.D	N.D	N.D	
	<i>Alexandrium</i> spp.	N.D	N.D	N.D	N.D	0.01	N.D	0.02	N.D	N.D	N.D	0.13	0.05	
石川漁港	<i>Dinophysis caudata</i>	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	0.02	N.D	N.D	N.D	
石川2	<i>Alexandrium</i> spp.	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	0.01	N.D	N.D	0.02	
赤野漁港	<i>Dinophysis caudata</i>	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	0.01	N.D	N.D	N.D	
赤野1	<i>Alexandrium</i> spp.	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	0.01	N.D	N.D	0.15	
赤野漁港	<i>Dinophysis caudata</i>	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	0.01	N.D	N.D	N.D	
赤野2	<i>Alexandrium</i> spp.	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	0.04	
糸満漁港	<i>Dinophysis caudata</i>	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	0.02	N.D	
糸満1	<i>Alexandrium</i> spp.	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	
糸満漁港	<i>Dinophysis caudata</i>	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	
糸満2	<i>Alexandrium</i> spp.	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	0.01	

*本県における麻痺性貝毒の原因プランクトンは *Alexandrium* 属, 下痢性貝毒の原因プランクトンは *Dinophysis* 属をいいます。

表2 貝毒分析結果

調査地域	対象	検体採取日	麻痺性貝毒 (MU/g)	下痢性貝毒 (mgOA当量/kg)
沖縄本島北部		2022年7月13日	2.0未満	0.01未満
塩屋湾	カキ	2022年11月22日	2.0未満	0.01未満
田港		2023年1月5日	2.0未満	0.01未満
沖縄本島南部		2022年7月13日	2.0未満	0.01未満
糸満漁港	カキ	2022年11月24日	2.0未満	0.01未満
糸満		2023年1月6日	2.0未満	0.01未満

2) リスク管理体制の整備

全国会議への出席	1回	漁場環境保全関係研究開発推進会議 「赤潮・貝毒部会」	令和4年12月6-7日
----------	----	-------------------------------	-------------

(2) 養殖衛生管理体制の整備

1) 総合推進会議の開催等

全国会議等への出席	4 回	水産用医薬品薬事監視講習会	令和 4 年 11 月 1 日
		九州・山口ブロック魚病分科会	令和 4 年 11 月 15－16 日
		魚病症例研究会	令和 4 年 11 月 30 日
		増養殖関係研究開発推進会議「魚病部会」	令和 4 年 12 月 1 日

2) 養殖衛生管理指導

養殖衛生研修会への参加	3 回		
指導会議の開催	1 回	受講経営体数	1 経営体 (受講者数 7 名)
巡回指導・防疫指導		指導経営体数	56 経営体

表 3 養殖対象種別経営体と養殖管理指導を行った養殖等経営体数の割合

養殖対象種別経営体数	養殖衛生管理指導を行った養殖等経営体数の割合	100%
① 魚類	35 経営体 (全 35 経営体)	
② クルマエビ	18 経営体 (全 18 経営体)	
③ ウナギ	1 経営体 (全 1 経営体)	
④ スッポン	2 経営体 (全 2 経営体)	

3) 養殖場の調査・監視

医薬品残留検査	1 回	1 経営体
---------	-----	-------

表 4 養殖スギの医薬品残留検査結果

実施時期	検査方法	対象地域	対象魚	対象医薬品	検体数	結果
2023 年 2 月 13 日	公定法	与那城	スギ	OTC	6	検出せず

OTC：塩酸オキシテトラサイクリン

4) 養殖衛生管理機器の整備

書籍の購入

5) 疾病の発生予防・まん延防止

防疫指導 (魚病診断書の発行)	47 件	10 経営体
-----------------	------	--------

本事業において、九州・山口ブロック会議では各県の魚病発生状況や傾向と対策および指導状況等の情報交換が図られ、効率的な魚病検査および指導につながった。また近年、あたらしい血清型とみられるレンサ球菌症（仮称：Ⅲ型レンサ球菌症）が複数の魚種で確認されており、今後の課題についても共有された。養殖衛生管理技術者養成研修への参加により、基礎的な魚病診断技術を習得できた。貝毒原因プランクトンモニタリングは、12 回行い、8 月から 3 月にかけて若干の麻痺性貝毒と下痢性貝毒が採集できた (表 1)。貝毒分析は、7 月、11 月、そして 1 月に天然のカキを採取し検査を行った

が、麻痺性貝毒、下痢性貝毒ともに検出限界以下であった (表 2)。養殖対象種別経営体数は、56 経営体で、養殖衛生管理指導を行った養殖等経営体数の割合は 100%であった (表 3)。医薬品残留検査では、養殖スギ 6 検体を入手し、塩酸オキシテトラサイクリンの残留検査を行ったが検出されなかった (表 4)。魚病の知識を深め、迅速な検査項目の設定を行うため、令和 4 年度の備品の整備において新魚病図鑑を購入した。本事業により各養殖業者に対して適切な養殖衛生管理技術指導を継続的に行うことで、県産養殖生産物の安全性を維持し、安定生産に寄与している。